



ほけんだより



2022年8月31日発行
まゆみの里保育園

残暑は厳しいですが、朝夕の涼しい風に秋の気配を感じるようになりました。気温の変化で体調を崩さないよう、気を付けて過ごしましょう。

9月の避難訓練では避難用品や非常食についてのお話を聞きます。ご家庭でも、お子様と一緒に防災対策や避難用品の必要性について話し合ってみてはいかがでしょうか。



防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は「防災の日」、9月9日は「救急の日」です。防災週間では、自然災害に対する認識を深めたり、備えや対策を今以上に高められるといいですね。

もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意するといいいのはなぜか。火事や地震が起きたら、何をすればいいのか。日頃から、お子様と話し合い、緊急時に備えたいものです。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する



救急箱の中身、 チェックしてますか？

CHECK!

救急箱の中身は何が常備されていますか。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておきましょう。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。

絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。



体温計



ガーゼと 医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



毛抜きや ピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



常備薬

（虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど）

